

# 日点委通信

No.10

1994年10月1日発行

## 日本点字委員会総会報告

日本点字委員会は、1994年5月14日・15日の両日、東京都新宿区の戸山サンライズにおいて、第30回総会を開催し、次の事項を協議した。

### 1. あはき国家試験点字問題における注の表記について

横浜市立盲学校の岩屋芳夫教諭から、注に使用するカッコ類の使い分けを主とする「第2回あん摩・マッサージ・指圧師、はり師、きゅう師等国家試験点字問題における注の表記について」の問題提起があり、墨字の問題文そのものに付いているカッコと、点訳に当たって付けられたカッコとの使い分け等の是非について協議した。協議内容の詳細は『日本の点字 第20号』に掲載する予定である。

### 2. 経絡経穴における同音異穴の点字注について

宮村健二委員の「同音異穴の点字注についての検討案」（関東地区小委員会）に基づいて、同音異穴に付ける点字注の標準化について協議した。協議結果を踏まえて、「同音異穴の点字注記標準化についての提案」をまとめ『日本の点字 第20号』に参考資料として公表することとした。

### 3. 理療関係用語の点字表記について

宮村健二委員から「理療関係用語の点字表記についての検討案」（関東地区小委員会）についての提案があり、解剖用語等の切れ続きについて協議した。理療関係用語の意味を大事にしながら『日本点字表記法 1990年版』のルールにそって検討案をまとめ、『日本の点字 第20号』に掲載し、広く意見を徴することとした。

### 4. 委員・役員等の改選について

1994年は委員等の改選の年に当たり、盲教育界代表委員は、平成5年度の全日本盲

学校教育研究大会北海道大会において、盲人社会福祉界代表委員は、日本盲人社会福祉施設協議会の点字図書館・出版部会において、また、学識経験委員は、第30回総会に先立って開催された両界代表委員協議会において、それぞれ次のとおり選出され、1998年3月まで4年間、第7期委員としての任務に当たることになった。

盲教育界代表委員は、秋元喜代子（大阪市立盲学校）、宇和野康弘（宮城県立盲学校）、金子昭（神奈川県立平塚盲学校）、塩谷治（筑波大学附属盲学校）、中村幹夫（石川県立盲学校）、秦彰文（京都府立盲学校）、堀崎忠彦（愛知県立岡崎盲学校）の7名である。

盲人社会福祉界代表委員は、岩下恭士（毎日新聞社・点字毎日）、岩井和彦（奈良県視覚障害者福祉センター）、加藤俊和（日本ライトハウス点字情報技術センター）、高橋秀治（カトリック点字図書館出版部）、田中徹二（日本点字図書館）、肥後信之（東京点字出版社）、藤野克己（岐阜訓盲協会点字図書館）の7名である。

また、学識経験委員は、阿佐博（東京ヘレン・ケラー協会点字出版局）、木塚泰弘（国立特殊教育総合研究所）、小林一弘（全国盲学校長会）、直居鉄（白梅学園短期大学）、永井昌彦（京都府視覚障害者協会）、宮田信直（日本ライトハウス）、宮村健二（筑波技術短期大学）、村谷昌弘（日本盲人会連合）の8名である。

今回の総会において、これらの委員の互選により、会長には阿佐博が、副会長には木塚泰弘と小林一弘が、そして、事務局長には直居鉄が、会計監査には金子昭と高橋秀治がそれぞれ選出された。また、事務局員には、渡辺昭一（京都ライトハウス点字出版部）、水谷吉文（天理教点字文庫）、当山啓（日本点字図書館）、植村信也（日本点字図書館）、原田早苗（筑波大学附属盲学校）、根本厚志（東京ヘレン・ケラー協会点字出版局）の6名が阿佐会長から委嘱された。

##### 5. 点字科学記号専門委員会の委員の補充について

宮村健二委員長から、点字科学記号専門委員会活動の充実のため、現行委員11名に次の6名を委員として補充したい旨の提案があり、承認された。

石川准（静岡県立大学）、乙川利夫（国立身体障害者リハビリテーションセンター）、澤崎陽彦（東京都立秋川高等学校）、福井哲也（東京都北療育医療センター）、山口雄仁（日本大学短期大学部）、吉泉豊晴（労働省）

## 日本点字図書館改築に伴う日本点字委員会事務局 臨時移転のお知らせ

日本点字図書館の改築工事のため、日本点字委員会の事務局を平成6年8月から、下記の場所に移転することになりました。約1年半の間ご迷惑をおかけすることになりますが、よろしくお願いたします。

移転先住所 〒110 東京都台東区上野桜木2-24-16

日本点字図書館仮事務所内

電話 03-3827-0523 FAX 03-3827-0531

郵便振替 00100-1-42820 (本年5月から変更)

なお、本会発行図書のご注文・お問い合わせは、下記へお願いたします。

○『日本点字表記法 1990年版』『点字数学記号解説』『点字理科記号解説』『日本の点字100年の歩み』の墨字版 → 日本点字図書館用具事業部 (〒169 東京都新宿区高田馬場1-23-4 電話03-3209-0751)

○『日本点字表記法 1990年版』点字版 → 日本点字図書館出版事業部 (〒110 東京都台東区上野桜木2-24-16 電話03-3827-0523)

○『点字数学記号解説』『点字理科記号解説』『日本の点字100年の歩み』の点字版および『日本の点字』墨字版・点字版 → 日本点字委員会事務局

### 『日本の点字 第20号』の内容について

『日本の点字 第20号』は、「理療関係用語の点字表記についての検討案」「同音異穴の点字注記標準化についての提案」「あはき国家試験の点字表記について」「数学・理科記号の用法の追加解説」「点字に関する文献リスト」などを中心に編集する予定です。

## 頒 布 図 書 案 内

-----注文先・日本点字図書館用具事業部（消費税がかかります）-----

1. 『日本点字表記法 1990年版』（墨字版） 1000円（送料310円）
2. 『点字数学記号解説』（墨字版） 600円（送料240円）
3. 『点字理科記号解説』（墨字版） 600円（送料240円）
4. 『日本の点字100年の歩み』（墨字版） 500円（送料240円）

-----（郵便振替 00150-8-44522）-----

-----注文先・日本字図書館出版事業部（消費税はかかりません）-----

1. 『日本点字表記法 1990年版』（点字版） 5100円（送料無料）

-----（郵便振替 00190-9-750672）-----

-----注文先・日本点字委員会事務局-----

	（点 字 版）	（墨 字 版）
1.	『点字数学記号解説』 1200円（送料無料）	
	『点字数学記号解説別冊』 3800円（送料無料）	
2.	『点字理科記号解説』 1200円（送料無料）	
3.	『日本の点字100年の歩み』 700円（送料無料）	
4.	『日本の点字 第9号』 300円（送料無料）	300円（送料190円）
	（コンピューター用点字 動詞「する」の切れ続き その他）	
5.	『日本の点字 第11号』 400円（送料無料）	400円（送料240円）
	（現代かなづかいの問題点とその展望 点字関係文献目録 その他）	
6.	『日本の点字 第12号』 400円（送料無料）	400円（送料240円）
	（外来語及び外来語を含む複合語の切れ続きについて その他）	
7.	『日本の点字 第13号』 500円（送料無料）	500円（送料240円）
	（複合語の構成と分かち書きの問題 国語審議会への要望書 その他）	
8.	『日本の点字 第14号』 500円（送料無料）	500円（送料240円）
	（「改定現代仮名遣い」原文 点字表記に関する調査報告 その他）	
9.	『日本の点字 第16号』 500円（送料無料）	500円（送料190円）
	（点字が開いた社会参加への道 点字と情報機器 その他）	
10.	『日本の点字 第17号』 600円（送料無料）	600円（送料240円）
	（日本点字委員会25年の歩み 盲学校用点字教科書の表記について その他）	
11.	『日本の点字 第18号』 500円（送料無料）	500円（送料240円）
	（英語点字表記の一部改訂について ルビの扱いについて その他）	
12.	『日本の点字 第19号』 500円（送料無料）	500円（送料190円）
	（点訳者挿入符の使い方についての検討案 鳥居篤治郎先生と点字 他）	

墨字版の送料は冊数が多くなれば割安になりますのでお問い合わせください。

〒110 東京都台東区上野桜木2丁目24番16号 電話 東京03(3827)0523番  
日本点字図書館内 日本点字委員会事務局（郵便振替 00100-1-42820）